

村の出来事

村内の出来事、話題をお届けします

反核平和の火



7 | 26

ヒロシマの心を語り継ぎ、反戦・反核を訴える「反核平和の火リレー」が占冠村を通りました。
広島県で平和体験をする中学生も平和の火が灯されたトーチを手にランナーとして参加しました。
平和の火は日高町へ引き継がれ、8月6日に札幌市へ到着しました。

平和を考える映画会



8 | 9

8月9日、占冠村コミュニティプラザで、広島平和体験の報告会と平和を考える映画会が行われました。会場には子どもたちの報告を聞くことと55人の村民が参集しました。
報告会では、4人の中学生と引率の教諭が広島で見たことや聴いてきたことを報告していました。

追悼式



8 | 12

戦争の犠牲となった方々を追悼し、平和への誓いを新たにする戦没者追悼式が、遺族・来賓の参列のもと、占冠神社境内でしめやかに行われました。また、同境内では占冠村の自治振興に尽力した歴代村長、議会議員を偲ぶ自治功利物故者追悼式も行われ、遺族・関係者が冥福を祈りました。

一般国道237号 富良野市〜占冠村 間 旭川開発建設 部と関連市町村等 との意見交換会

7月13日、第3回目の意見交換会が総合センターで行われました。
各市町村から出されていた危険箇所への対応が旭川開発建設部から示されました。
危険であるという意見が集中したのは金山峠でした。標識の設置や取替えを行い観光客等へ注意を促す対策が講じられることになりました。また、冬期のスリップ防止対策については課題とし、状況を観察し今後検討していくこととされました。

地域貢献事業で環境整備 ありがとうございました！



7月29日、富良野道路事務所管内 道路舗装維持工事（北海道開発局事業）を行って、株式会社山伏パコム（荒木徹社長、富良野市）が地域貢献事業として、村内の環境整備を行いました。

作業は夏休み期間を利用して行われ、中央小学校前と役場の前と横、プール周辺のアスファルトの傷が修復されました。住民の方はもちろん特に子どもたちが利用することの多い場所ですので、危険なく安心して歩くことができます。

ありがとうございました。

ご寄贈くださいました

前田道路株式会社
 会社北海道支店
 北海道横断自動車道総別舗装
 工事事務所（磯昭男社長、字占冠）が、占冠中央小学校開校100周年記念の看板をご寄贈くださいました。

ありがとうございました。



森林資源活用検討委員会

7月29日、森林資源活用検討委員会が開催されました。委員会は8人の委員で構成されており、委員の任期は3年です。

村有林をはじめとした村内の森林資源の活用策に関し「森林（もり）づくり部会」「森林（もり）活（い）かし部会」の二つの部会を設置し話し合いを進めます。

1回目の委員会では、委員長（東京大学北海道演習林 芝野博文氏）と副委員長（NPO法人占冠 村づくり観光協会 竹利利広氏）の選出、委員の部会分けを行い、村有林を視察しました。



ネクスコ東日本意見交換会

7月15日、占冠村とネクスコ東日本千歳工務所の意見交換会が行われました。

ネクスコ東日本千歳工務所から、高速道路工事の進捗状況や高速道路開通前イベントの計画、占冠PAの活用について説明があり、意見交換がされました。

また、5月のJR事故の経験から、高層道路での事故・災害時の体制を整えておくことが必要とのことから、今後継続して打ち合わせを行っていくことになりました。

